

豊郷吉田の酒蔵で 蝦夷地に夢を描いた近江商人 を学ぶ

幕末の蝦夷に出かけた湖東商人藤野喜兵衛旧宅の見学を合わせ、三方よし研究所顧問の青柳周一先生から「蝦夷地の近江商人」のお話をお聞きします。

講演会場は160年余の歴史をもつ豊郷町吉田の岡村本家の2階の酒造ホール。同酒造が運営する「豊郷発酵倉」で発酵由来のお食事をご用意しました。多数のご参加をお待ちしております。

開催日 令和2年8月2日(日) 9:15~

集合 9:15 JR能登川駅改札付近

当日のスケジュール

- 9:30 能登川駅東口よりバスで移動
9:50 岡村本家2階 酒造ホール
- 講演 「蝦夷地の近江商人」**
講師：滋賀大学経済学部教授 青柳周一 先生
- 12:00 岡村酒造直営の「豊郷発酵倉」にて昼食、その後酒蔵見学
13:35 豊会館(藤野喜兵衛旧宅) 見学
14:25 江州音頭発祥の地のひとつ「千樹寺」見学
15:00 能登川駅にて解散



あおやぎ・しゅういち
1970年生。東北大学文学部史学科卒業。
同大学大学院文学研究科博士課程修了。
2001年滋賀大学経済学部講師(同学
部附属史料館専任教員)として赴任。
2011年より教授。2016~20年まで史
料館館長。



蝦夷地で活躍した旧藤野喜兵衛家 又十屋敷「豊会館」

初代である藤野喜兵衛は天明元年(1781)に松前へ渡り、寛政12年(1800)に独立開業。蝦夷地の請負場所で漁業を営み、文化2年(1805)には7艘の船を持つ商家に成長。2代四郎兵衛は湖東焼の経営にも関わった。明治時代に藤野家が製造した五稜北辰の印の缶詰は、マルハニチロの「あけぼの缶詰」に受け継がれている。

岡村酒造

安政元年(1854)創業。メインの銘柄「金亀」は彦根城の別名「金亀」に由来する。原料米は100%地元の生産者からの米を使うというこだわりで、できた酒の多くが直販売。随時酒蔵見学も可能で昔の精米蔵を改造したカフェ「豊郷発酵倉」も人気を集め、日本酒の様々な飲み方を提案している。
滋賀県犬上郡豊郷町吉田60 TEL.0749-35-3717

定員 / 40名

参加費 / 4,000円 (当日ご持参ください)

申込締切 / 7月20日(月) (ただし定員になり次第締め切り)

※7月20日以降キャンセル料が発生するので、ご注意ください

主催 特定非営利活動法人 三方よし研究所 さんぽう お問い合わせ先 / TEL 090-7090-1923 (三方よし研究所 / 田中)

参加申込書

JR能登川駅 ・ 現地 (岡村本家)		※バスの定員の関係上、いずれかに○をおつけください	
(ふりがな)		所 属	<input type="checkbox"/> 三方よし研究所
ご氏名			<input type="checkbox"/> その他 ()
ご連絡先	〒 ご住所	当日連絡がつく 携帯 TEL	
		FAX	
		Eメール	

参加申し込みいただいた方には後日申し込み受理通知をお送りします。通知が届かない方はお問い合わせください。

参加申込先: FAX 077-583-4747 Eメール: office@sanpo-yoshi.net